

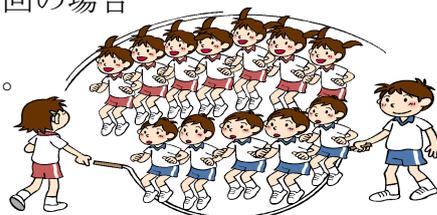
「体力アップ! チャレンジかごしま」記録算定の注意事項について【中学校版】

生徒たちが頑張って取り組んだ成果が、記録の申告に正しく反映されるよう、以下のことを確認してから実施・申告してください。

1 「仲間とチャレンジ!」(集団連続長縄跳び) (対象: 全学年)

【例】36人学級で回し手が教員2人、連続跳躍最高回数が9回の場合

- ① 参加人数は36人 ※ 生徒のみ
- ② 生徒数(36)に連続跳躍最高回数(9)を掛ける。
- ③ $36 \times 9 = 324$ 。
- ③ 記録(324)を申告する。



- 制限時間内(2分間)で、連続して跳んだ最高回数を申告します。途中で失敗しても続けて構いませんが、回数は1からカウントします。

2 「長縄エイトマン」(長縄8の字連続跳び) (対象: 全学年)

申告回数……3分間で跳んだ回数



- 3分間、途中で失敗しても続けて行い、回数も継続してカウントします。

3 「馬跳びピョンピョンピョン!」(連続馬跳び) (対象: 全学年)

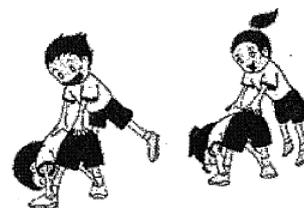
【例】11人学級の場合……2人組が6組(1人は2回参加)

| | | |
|---------|---------|---------|
| A組……58回 | B組……49回 | C組……32回 |
| D組……63回 | E組……55回 | F組……50回 |

合計307回 ÷ 跳んだ人数12人 = 25.58

申告回数……25.5回 ※ 小数第2位を切り捨て

★1人が往復跳び、次にペアの相手と交代します。



- カウントする回数は、「跳んだ回数」です。
※ 1人が「往復」跳ぶので、「2回」跳んでペアの相手と交代です。
- 割る数の「跳んだ人数」は、必ず「偶数」となります。

4 「2人でさっさっ」(手つなぎ横跳び) (対象：全学年)

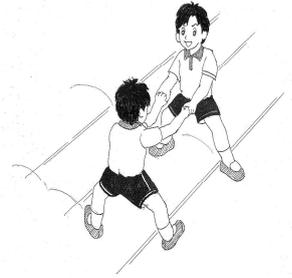
【例】15人学級の場合……2人組が8組(1人は2回参加)

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| A組……20回 | B組……22回 | C組……24回 | D組……34回 |
| E組……18回 | F組……31回 | G組……19回 | H組……15回 |

合計183回 ÷ **跳んだ人数16人** = 11.43

申告回数……11.4回 ※ 小数第2位を切り捨て

★2人の回数が違う場合は、少ない方を記録とします。



- 「跳んだ組」ではなく、「跳んだ人数」で割って記録を出します。
- 割る数の「跳んだ人数」は、必ず「偶数」となります。

5 「のばしてコロコロ」(対象：全学年)

【例】8人学級の場合

| | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| Aさん……8回 | Bさん……10回 | Cさん……12回 | Dさん……15回 |
| Eさん……6回 | Fさん……9回 | Gさん……11回 | Hさん……7回 |

合計78回 (Aさん~Hさんの合計回数) ÷ 人数8人 = 9.75

申告回数……9.7回 ※ 小数第2位を切り捨て

- 制限時間内(1分間)に、ボールを転がしながら体の周囲を回した回数を申告します。

